

浅口市立六条院小学校令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科は、正答率が全国・県平均を上回っている。特に、文章の構想の仕方の理解や条件に合わせて、感想文を書くことがよくできている。 ○算数科は、正答率が全国・県平均を上回っている。特に、図形領域において見取り図や展開図について理解できている。 ○国語科・算数科ともに、無回答率が低く、学習に粘り強く取り組む姿勢が身に付いていることが分かる。 <課題> ▲国語科では、情報量が多い問題を読んで、整理して考えることが難しい。 ▲算数科では、複数の学習内容を組み合わせた問題や速さについての問題で正答率が低かった。問われている内容を把握することや意味理解に課題が見られた。	<成果> ○国語・算数が好き・大切だと思うと回答した児童の割合が高く、学習に対して意欲的である。 ○学習の中でタブレットなどのICT機器を活用するよさを感じている児童が多い。 ○平日に1時間以上学習をしている児童がほとんどで、家庭学習の習慣が身に付いている。 <課題> ▲友達に自分の考えをうまく伝えられるように工夫して発表している児童が全体の半数で、発表に自信がない様子が伺える。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科・算数科ともに、正答率が全国・県平均を上回っている。 ○国語科では、話を聞き取ったり、メモをとったりして内容を把握することができ、言語についての理解も比較的よい。 ○算数科では、グラフから情報を読み取る問題がよくできている。 <課題> ▲国語科では、国語辞典や漢字辞典の使い方に関する問題や報告する文章についての問題の正答率が低かった。 ▲算数科では、長さなどの測定の問題、単位量当たりの問題、比例の問題の正答率が比較的低く、習熟が必要だと感じる。	<成果> ○国語科、算数科の学習が分かるかという設問について肯定的な回答をしている児童の割合が高い。 ○平日に1時間以上家庭学習をしている児童や計画を立てて学習に取り組む児童がほとんどである。 ○朝食をきちんととる児童の割合が高く、基本的な生活習慣が整っている。 <課題> ▲友達に自分の考えをうまく伝えられるように工夫して発表している児童が全体の半数で、発表に自信がない様子が伺える。 ▲平日にスマホでの動画視聴やテレビゲームを2時間以上している児童がおよそ半数である。



改 善 策	
学 校 で の 取 組	
① <u>「六小っ子 学習の約束」を基本にした授業づくり</u> ・学習の準備 ・姿勢 ・話の聞き方 ・発表の仕方 ・学習用具など ② <u>国語科・算数科を研究教科とした「主体的に考える力」「協働する力」の育成</u> ・主体的・協働的な学びのために・・・「書いたら伝える・聞いたら返す」の合言葉や児童が使った「つながり言葉」を教室に掲示していく。児童同士の「つながり」を大切に、友達の発言を聞いて思考したり、反応を返したりしながら学習することができるよう支援していく。 ・表現力を養うための取組・・・ペア・グループでの話し合いを積極的に授業に取り入れる。 ③ <u>基礎学力の定着のための取組</u> ・朝自習の時間に各学年でプリント(国・算)に取り組んだり、読書をしたりすることで、基礎学力の定着を図る。 ・月曜日1校時を「ぐんぐんタイム」とし、国語科、算数科の基礎・基本の習熟に充てる。 ・年間5回のメディアコントロールがんばりカードに取り組ませることで、基本的生活習慣を整えられるようにし、家庭学習の習慣が身に付くようにする。 ・家庭学習の手引きを示したり、毎月きらきらノート(自主学習)だよりを発行したりすることで、自主学習に自信をもって取り組むことができるようにする。 ・読解力を養うため、全校で週末読書に取り組む。音読カードにも明記する。 ④ <u>児童理解に基づく学級経営の推進</u> ・教育相談による、不安や悩みの早期解消・早期対応を行う。 ・icheck の結果分析による児童理解を行う。	
あい・かもがた学園 で の 取 組	
○ カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育成する。 ○ 「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○ 各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。	
家庭・地域へのお願い	
○ 「家庭学習のしおり」「きらきら(自主学習)ノートだより」を活用し、家庭学習の約束を守りながら宿題・自主学習に取り組むよう、励ましをお願いします。 ○ 家庭でのメディア使用のルールを話し合い、メディアとのよりよい付き合い方について話をしてください。 ○ 登下校の様子やあいさつなど、児童の日々の様子で気付かれたことがあれば、ぜひ学校までお知らせください。地域での児童のよい行いも教えてくださると大変励みになります。	